

# ICT を活用した 自立活動の指導

**タイトル** 不登校生徒の意欲を引き出し、自己肯定感を育むための自立活動の指導

**学習形態** 個別指導

**対象障害** 視覚障害 聴覚障害 肢体不自由 知的障害 病弱・身体虚弱  
言語障害 自閉症 情緒障害 学習障害 注意欠陥多動性障害  
その他

**生徒の実態**

- ・ 高等部1年生。7歳頃の発達の力
- ・ 不安感が非常に強く、適応障害の診断あり
- ・ 小学校から不登校傾向で、現在は月に数回、保護者と放課後登校

**自立活動の課題**

- ・ 心身の調子、生活習慣、登校時の活動を客観的に評価し、自己理解につなげる。

**ICT の効果**

- ・ 自分の思いを伝え、自分で決めたことをやりきる経験を積み重ね、自己肯定感や自信につなげる。
- ・ 登校時だけでなく家庭でも ICT を活用し、学習の定着や積み重ねを図る。

**活用した ICT 機器**

- ・ パソコン

**アプリケーション**

- ・ タブレット

**教材・コンテンツ等**

- ・ VR
- ・ アプリケーション  
プログラミング、リズムストレッチ、タイピング など

**自立活動の指導** ①Teams の Forms で健康観察を行う。心身の状態を客観視し、活動内容や活動量を自分でスケジューリングする。下校前には、Forms で振り返りを行う

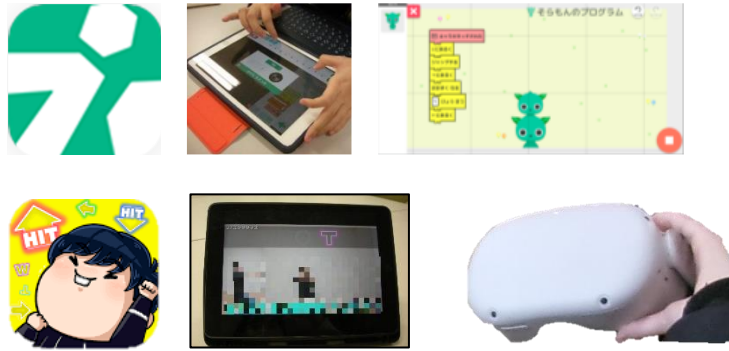


今日の予定 【 月 日 ( ) 】	
15:00	健康観察
15:15	自由時間
15:45	自由時間
16:00	自由時間
16:15	自由時間

今日は調子が良いから、〇時まで居られそうです♪



②本人の興味関心の高い ICT 機器を使った取組の例



プログラミング、リズムストレッチ、タイピング、VR など

③家庭でも次回登校日に向けたやりとりをしたり、学習課題に取り組んだりする



生徒の様子・変容  
ICT の効果

- ・拒否を含めた意思表示ができ、心身の調子に合わせた活動の設定を自分でスムーズに決められるようになった。
- ・良いことばかり話しがちだったが、ネガティブな内容も話せることが増えた。
- ・蓄積したデータを視覚的に振り返り、できたことや変化などを評価できた。
- ・登校しにくい状態が続いても、Teamsを通して途切れることなくやりとりできた。
- ・時間にとらわれず、自分のペースで課題に取り組めた。
- ・教師からの投稿の自主的な確認やスピーディーな課題提出ができた。

ICT 活用のポイント

- ・アンケートフォームをもとに、発問や共感しながら生徒の表出を促す。
- ・「ここまで目指したい」「こんな風にやってみたい」という関心や意欲がもちやすい教材を見つける。
- ・「段々〇〇になってきた」「前よりは〇〇」などの変化に気付かせる。